

◎ 展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	①	子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
人権意識の高揚	○人権問題研修会	人権啓発推進	H22～26	該当のテーマは未実施
	○わくわくワークショップ	人権啓発推進		該当のテーマは未実施
	○広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進		『人権を考える情報紙』を8月、1月に市内全戸配布も、該当テーマの記事は無し
	○ヒューマン映画上映会	人権啓発推進		該当のテーマは未実施
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	○「児童福祉週間」の実施	こども福祉	H22～26	4月23日～5月29日に週間を設置し、各種事業に述べ1,085人参加
	○通常保育での充実(価値観の違いを認める意識の醸成)	こども福祉		障がいのある児童の受け入れ
人権教育の充実	○研修会 ・ハートフルフェスタ、幼児、小・中学生の作品展示等 ・人権に係る学習会	社会教育	H22～26	人権教育研究会8月24日参加者250名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座)8月6日参加者50名 留守家庭児童会指導員人権問題学習会2月9日参加者56人 京田辺市ハートフルフェスタ12月4日参加者110人 人権に係る作品展示205点 子どもの人権に関する映画鑑賞 12月18日参加者33人

◎ 展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	②	障がい児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
京田辺市障害福祉計画	○各種障がい福祉サービスの給付 ・訪問系サービス ・日中活動系サービス ・居住系サービス ・補装具費支給事業 ・日常生活用具給付事業	障害福祉	H22～26	居宅介護:利用者14名・利用時間4,612時間 行動援護:利用者10名・利用時間2,610.5時間 短期入所:利用者19名・利用時間491時間 補装具:購入24件・修理11件 日常生活用具:68件
	○地域生活支援事業 ・相談支援事業 ・移動支援事業 ・日中一時支援事業	障害福祉		・相談支援事業(利用延べ件数10,020件。うち児童利用延べ件数469件) 移動支援事業:利用者53名・利用時間9199.5時間 日中一時支援事業:利用者413名(のべ)・利用時間9199.5時間
自立支援医療給付事業の推進	○自立支援医療給付事業の推進(再掲1-(1)-(3))	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 37名
各種手当等の支給による支援	○特別障害者手当	障害福祉	H22～26	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。35人(児童)に支給。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・特別支援教育就学奨励費(再掲2-(1)-(7))	学校教育		・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。
	○特別児童扶養手当(再掲2-(1)-(7))	こども福祉		受給者数:101名
	○市中心身障害児童特別手当(再掲2-(1)-(7))	こども福祉		支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円
発達相談指導員による発達相談	○発達相談指導員による発達相談(再掲1-(1)-(1)、1-(2)-(1)、2-(1)-(2)、2-(3)-(2))	こども福祉	H22～26	実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業の開始 公立3保育所91人実施
障がい児保育・教育等の推進	○障がい児保育の実施(保育所での保育に欠ける障がいのある児童の受け入れ)	こども福祉	H22～26	40人
	○障がいのある児童の訪問(再掲1-(1)-(1))	こども福祉		34件
	○児童デイサービス事業	こども福祉		年間65人が利用した(実人数)
	○サマースクール事業への支援	障害福祉		学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。10日実施。総参加者384人(うち対象者総数110人、ボランティア等総数73人)
	○就学指導委員会活動の充実	学校教育		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円
	○特別支援教育の推進	学校教育		京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金34千円
学校施設のバリアフリー化	○学校施設のバリアフリー化(小・中学校への障がいのある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図る)	教育総務室	H22～26	未実施
留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会での障がいのある児童の受け入れ	社会教育	H22～26	8児童会・14学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数502人。希望者全員受入。

◎ 展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	③	ひとり親家庭への支援

☆
19

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (再掲2-(1)-(2))	社会福祉	H22~26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
母子家庭医療費助成事業	○母子家庭医療費助成事業 (再掲1-(1)-(5))	国保医療	H22~26	平成22年度給付実績 1,936件 32,353千円
ひとり親家庭の日常生活支援	○母子自立支援員等によるひとり親家庭への相談支援	こども福祉	H22~26	自立支援員未設置
	○母子家庭日常生活支援事業(府制度)	こども福祉		府制度周知
	○母子世帯府営住宅優先入居(府制度)	こども福祉		1世帯入居
各種手当の支給による支援(☆)	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(1)-(7))	こども福祉	H22~26	平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(1)-(7))	こども福祉		支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	○母子家庭奨学金 (再掲2-(1)-(7))	こども福祉		申請者471名
	○交通遺児奨学金 (再掲2-(1)-(7))	こども福祉		申請者3名(児童数4名)
ひとり親家庭の交流促進	○ひとり親家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	こども福祉	H22~26	新入学児童を祝い励ます会に参加者10名。 ひとり親家庭新入学児童35名にランリュックを贈呈
	○京田辺市子会活動の支援 ・母子家庭交流事業支援等	こども福祉		会員数85人 補助金の支給7300円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った
職業技能訓練給付事業	○高等技能訓練促進給付事業	こども福祉	H22~26	受給者2名
	○自立支援教育訓練給付事業	こども福祉		受給者2名
ファミリー・サポート・センター事業	○ファミリー・サポート・センターにおける優先利用	こども福祉	H22~26	ひとり親家庭の優先利用は未実施であるが、希望利用者は全員利用できている。
女性相談・男性相談	○女性の相談室 (再掲1-(3)-(3)、2-(3)-(2))	市民参画	H22~26	・専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 ・出張相談 年7回、17件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 チャレンジ相談2件、母子自立相談5件
	○男性相談 (再掲1-(3)-(3)、2-(3)-(2))	市民参画		・男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数2件

◎ 展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	④	外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
世界に開かれたまちづくりの推進	○サポート体制の充実 (市内在住外国人等への情報提供等)	市民参画	H22~26	・京田辺市生活ガイドブックの作成(日本語版、英語版)、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載
	○外国語母子健康手帳の交付 (再掲1-(2)-(2))	こども福祉		発行:英語1冊 中国語 1冊